

令和3年4月7日

# 緑小だより

横浜市立緑小学校

4月号

ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

mail y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

## 令和3年度のスタートです!!

学校長 能城 順一

令和3年度がスタートしました。本年度は例年とは異なり4月7日からのスタートとなりました。昨年度は、始業式・入学式が終わるとすぐに2ヶ月の休校という辛いスタートとなりましたが、本年度は何とか「学びを止めることなく」教育活動を始めることができそうです。しかし、現在も新型コロナウイルス感染症は変異株が国内で拡大しており、それに伴う第4波への懸念が高まっています。まだまだ昨年度と同様に「ガイドライン」に沿って、感染症対策を講じた上での制限のある教育活動を継続していかなければなりません。保護者の皆様、引き続きのお子さんの健康観察の徹底につきましては、ご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

令和2年度末、緑小学校は、本間 弥生 副校長をはじめ12名の職員が離退任することとなりましたが、令和3年度は、新たに、津守 逸実 副校長をはじめ10名の職員を迎えることとなりました。児童に関しては、学級数は31学級、全児童数は888名でのスタートとなります。そして、私に関してお伝えさせていただきますと、3月31日をもって定年退職となりましたが、4月1日付で再任用校長として引き続き緑小学校の学校運営に携わることとなりました。平成30年度に着任以来3年間、私は緑小学校区の子どもたち・保護者の皆様・地域の皆様の優しさ・温かさに、心が洗われるような思いを何度もしてまいりました。そんな私にとって、引き続き緑小学校の校長として勤務できることは、この上ない喜びです。再任用校長という仕事は、任用が一年ごとに限られる一年一年が勝負の仕事です。開校41年目を迎える緑小学校のため、そして何より緑小学校の子どもたちのために全力で学校運営にあたってまいります。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞこれまで以上のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和3年度も学校運営方針の柱は変わることはありません。「ありがとうが言える子になろう」とする「感謝の心の育成」を基盤として、全ての教育活動を進めていきます。「緑小学校」と言えば「ありがとうの学校」と、子どもたちからも保護者の皆様からも地域の皆様からもすぐに返ってくる程に浸透していく令和3年度としたいと考えています。この学校運営方針の柱を平成30年度から3年間継続している成果は、子どもたちの姿に確実に表れてきています。3月23日に本校を巣立っていった6年生は、「ありがとうの気持ち」を、日頃、手をかけない校舎内の箇所を清掃する「奉仕活動」という形で表したり、職員への「感謝の手紙」という形で表したりしました。校長室にも、6年生が「感謝の手紙」と緑小全員の子どもたちと職員の健康を願う「千羽鶴」を届けてくれました。さらに、在校生を代表する5年生は、このコロナ禍で、卒業していく6年生にどのように「ありがとうの気持ち」を届けていくか考え、動画等を駆使して素晴らしい「6年生ありがとう集会」を開催、そして成功させました。先月の3月は、緑小全てがたくさんの「ありがとう」に包まれた月となりました。中央広場の「ハピネス」も、ひときわ幸せそうに輝いて見えた3月でした。

令和3年度も、コロナ禍であっても新たな本校のシンボルとなった「ハピネス」と共に「ありがとうの緑小学校」づくりを進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。